

令和4年度（2022年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和4年8月1日

調書番号	07-04	所管部	水産林務部	作成責任者	治山課長 土岐 倫功
				担当係	治山計画係 28-663

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	治山事業費				
ふりがな 地区名	あさひまち 旭町	市町村名	釧路市	総事業費	763 百万円
負担割合	国	道	市町村	—	その他
	49.9%	50.1%	—	—	—
	381 百万円	382 百万円	— 百万円	— 百万円	— 百万円

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●旭町地区は、釧路市阿寒町仲町に隣接しており、急峻な地形を有している土砂流出防備保安林であり、平成27年（2015年）9月、平成28年（2016年）9月の豪雨により溪流の荒廃や山腹崩壊が発生し、下流の人家等に土砂が流出する被害を与えた。</li> <li>●このため、荒廃溪流の整備や崩壊山腹の早期復旧等を図り、下流の人家等の保全を目的として、平成29年度（2017年度）より着手。</li> </ul>
	<p>【アウトカム】等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●山地災害から保全される人家 0戸 → 193戸</li> <li>●山地災害から保全される道路 0km → 7.4km</li> </ul>

事業概要	荒廃している溪流を対象に、治山ダムや土留工等の整備を行い、保安林機能の早期復旧を図り、山地災害から人家等を保全するもの。	工事費内訳	床固工 6基	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			谷止工 13基	前回評価	今回評価	増減額
			流木捕捉工 1基	116	286	170
			土留工 L=22m	141	274	133
			暗渠工 L=250m → 345m	7	19	12
			筋工 L=70m → 134m	6	5	△1
			伏工 A=1,800㎡ → 2,133㎡	1	1	0
			法切工 V=120㎡ → 489㎡	1	1	0
			植栽工 N=155本 → 90本	8	9	1
			流木対策工、管理道、仮設工	1	2	1
			測量設計費	1	1	0
			計	11	78	67
				61	87	26
				354	763	409

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承	豊かな自然の価値・恵みの保全と次代への継承	豊かな森林づくりの推進

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【北海道森林づくり基本計画 P29】 （事前防災・減災に向けた治山対策等の推進） 道民の安全で安心できる暮らしを守るため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等に基づき、治山事業による山地の防災・減災対策を進めます。
	関連する指標	山地災害危険地区のうち土石流等のリスクが高い箇所における治山対策実施率（R2年度（2020年度）：66%→R13年度（2031年度）：90%）

II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費	道負担額	当該年度事業費	累計事業費	進捗率(b)/(a)
							(a)			(b)	
事前評価又は当初	H29 (2017)	H29 (2017)		H33 (2021)	5	354	177				
前回再評価											
今回評価	H29 (2017)	H29 (2017)	R4 (2022)	R6 (2024)		763	382	181	612	80%	

変更理由・内容（概要）	荒廃溪流における治山対策の追加や数量の精査に伴う事業量と事業期間の増。 （主なものは、治山ダムに流木捕捉機能の付加と筋工、維持管理道路の追加）
-------------	--

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成27年（2015年）9月、平成28年（2016年）9月の豪雨により溪流の荒廃や山腹崩壊が発生し、下流の人家等に土砂が流出する被害を与えた。</li> </ul>
2. 事業検討の手續（住民への把握等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成27年（2015年）、平成28年（2016年）の災害を受けて、地元釧路市より治山事業施行要望あり。</li> </ul>
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>●釧路市阿寒町仲町市街地 人家193戸、道路7.4km、学校（阿寒高校）</li> </ul>

事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容
富士見地区復旧治山事業	国	H30~R2	154	谷止工3基

#### IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画											進捗状況	事業費(百万円)	
	施工(工種)区分	工事内容	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6				
	床固工	6基	←1基→		←2基→			←3基→					100%	286
	谷止工	13基	←	10基	→				←	3基	→		77%	274
	流木捕捉工	1基	←1基→										100%	19
	土留工	L=22m		↔									100%	5
	暗渠工	L=345m		↔									100%	1
	筋工	L=134m		↔	L=25m			L=109m	↔				100%	1
	伏工	A=2,133㎡		↔									100%	9
	法切工	V=489㎡		↔									100%	2
	植栽工	N=90本		↔									100%	1
	流木対策工・管理道・仮設工	1式	流木対策工・管理道・仮設道					流木対策工・管理道・仮設道			流木対策工・管理道		86%	78
	測量設計費	1式	←		→			←		→			100%	87

#### (2) 進捗状況

渓流対策は、全ての床固工と谷止工13基中10基の整備を完了。山腹工は全て完了。  
残す工種は谷止工3基とそれに併せて実施する流木対策工、管理道の整備であり、規模的に順調に進捗していく見込みである。

**b**

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。  
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R4現在	項目	R4現在	
	水源涵養便益	10	工事費	748	●「林野公共事業における事業評価マニュアル」(林野庁 令和4年(2022年)4月)に基づき算出 ●効果及び費用は令和4年(2022年)に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
	環境保全便益	12	維持管理費	1	
	災害防止便益	6,609			
	合計(B)	6,631	合計(C)	749	
	B/C	前回算定年度 H28年度(2016年度)【事業着手】 前回算定時B/C : 15.99 変更理由 : 荒廃渓流における治山対策の追加や数量の精査に伴う事業量と事業期間の増。 (主なものは、治山ダムに流木捕捉機能の付加と筋工、維持管理道路の追加)			
	R4現在				
	8.85				

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
		施工の最適化	挿筋による治山ダムの水平打継目

#### V 評価

1. 必要性	(1) 環境上の配慮及び課題	
		●特になし
	(2) 事業推進に対する住民の動向	
	●毎年、地元釧路市から、早期完成に向けた事業要望がある。	
	(3) その他の課題	
	●特になし	

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題	
		●特になし
	(2) 事業推進に対する住民の動向	
	●毎年、地元釧路市から、早期完成に向けた事業要望がある。	
	(3) その他の課題	
	●特になし	

3. 事業達成の見込み	全体計画の変更により、事業費及び事業期間が増加しているが、既に80%の進捗となっており、残事業量からみても事業完了が可能と見込まれる。					
	a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
4. 対処方針	地域住民の安全・安心な生活を守るため必要な事業であるとともに、確実な事業完了が見込まれることから、事業を継続する。					
	a	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止				
	事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無	有

## VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価： 該当なし 再評価： 該当なし
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

## 補足資料

### VII 事業計画変更

事業経過							事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	総事業費(a)	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初		H29(2017)	H29(2017)			H33(2021)	354			
変更①		H29(2017)	H29(2017)		R2(2020)	R6(2024)	799			
変更②	1回目			R4(2022)		R6(2024)	763	181	612	80%
変更③										
変更④										
変更⑤										
変更⑥										
変更⑦										
変更⑧										
変更⑨										
変更⑩										
							5			
変更理由・内容							変更①： 荒廃渓流における治山対策の追加や数量の精査に伴う事業量と事業期間の増。 (主なものは、治山ダムに流木捕捉機能の付加、維持管理道路の追加)  変更②： 測量試験結果による数量の精査と治山対策の追加による事業量の変更。 (主なものは、治山ダムの数量変更と筋工の追加)			

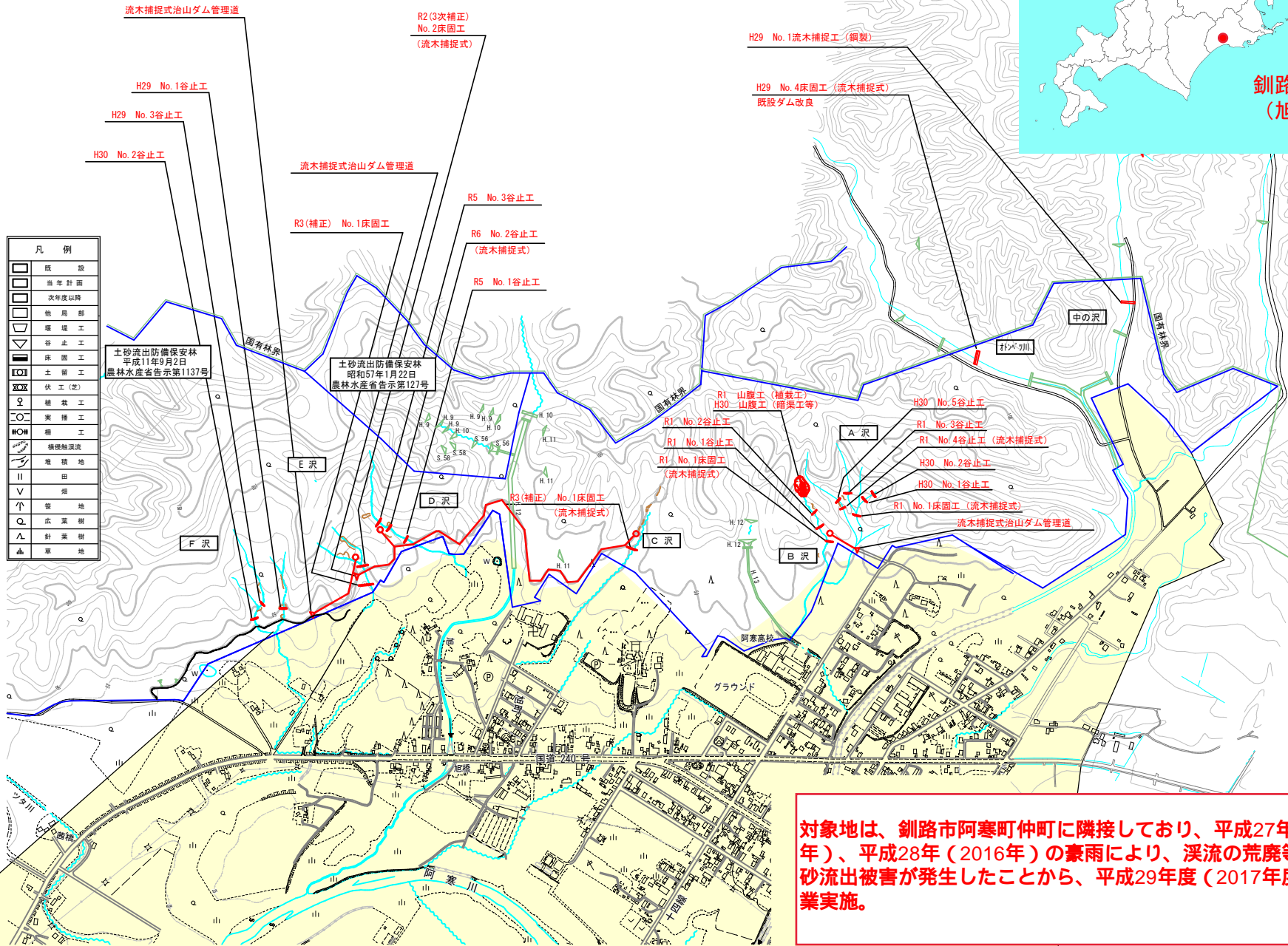


S=1/15000



釧路市阿寒町  
(旭町地区)

©2017 Hokkaido



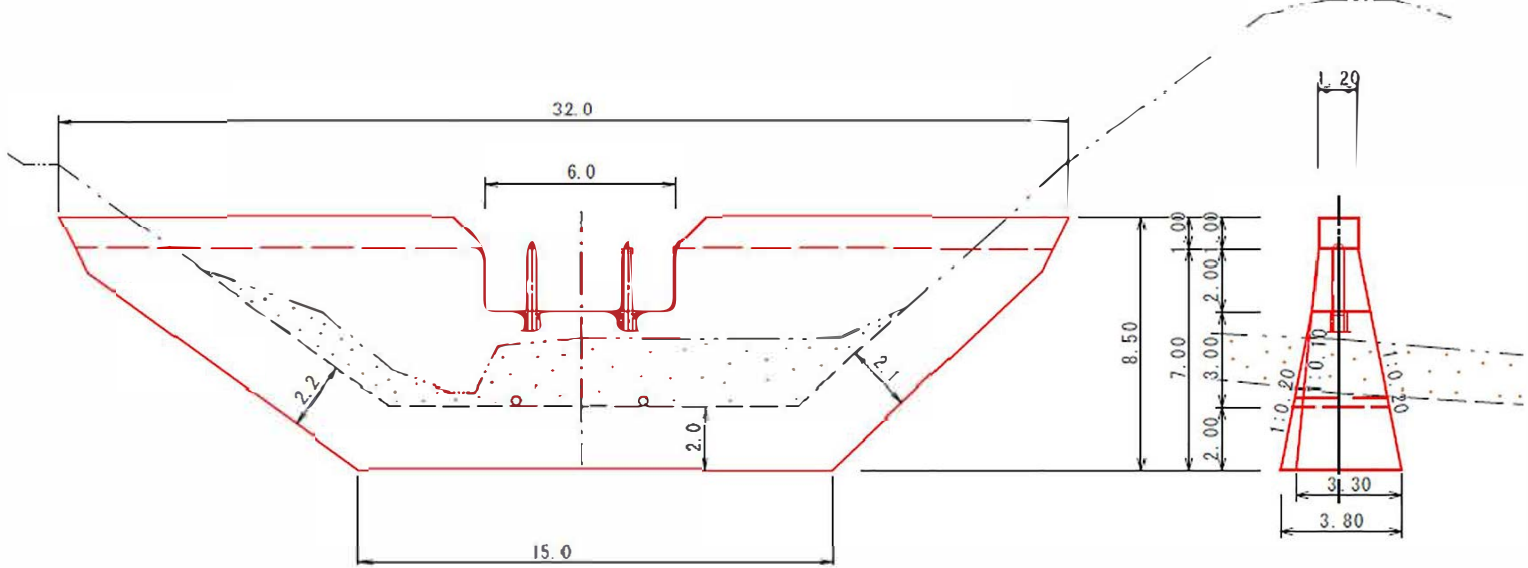
凡 例	
	既 設
	当 年 計 画
	次年度以降
	地 局 部
	堰 堤 工
	谷 止 工
	床 固 工
	土 砂 流 出 防 備 保 安 林 平成11年9月2日 農林水産省告示第1137号
	伏 工 (芝)
	構 装 工
	構 工
	構 設 深 流
	堆 積 地
	田
	畑
	陸 地
	広 葉 樹
	針 葉 樹
	草 地

対象地は、釧路市阿寒町仲町に隣接しており、平成27年（2015年）、平成28年（2016年）の豪雨により、溪流の荒廃等による土砂流出被害が発生したことから、平成29年度（2017年度）より事業実施。

# 床固工（流木捕捉式）構造図

正面図

側面図  
(5型)



降雨等の影響により、溪流内に溪岸の侵食や流木の恐れがある倒木が発生していることから、荒廃溪流対策として、治山ダム（床固工・谷止工）等を整備するもの。